

ヒューマンライツ・フェスティバル 2025

記念講演

ダウン症の子どもを育てて学んだこと
～ 天使がこの世に降り立てば ～ 金澤 泰子氏

入場
無料

定員 先着400人
(要予約)

き ぎょう
揮毫 パフォーマンス

金澤 翔子氏



12月6日 土

午後2時から(開場:午後1時30分)

エナジーホール

京阪守口市駅前・守口文化センター

- 人権啓発作品(標語)入選者表彰式
- 記念講演
- 人権特設相談(午前10時から午後1時)

手話通訳・文字通訳あり

一時保育

(10日前までに必ず申込を)



申込専用
フォーム

申込み

【主催】 守口市／守口市教育委員会／守口市人権協会
【協賛】 守口地区人権擁護委員会／守口市企業人権推進連絡会

電話または専用フォームから
守口市人権市民相談課
Tel 06-6992-1512



金澤 泰子／かなざわ・やすこ

書家。随筆家。ダウン症の書家として知られる金澤翔子の母。明治大学卒。柳田流家元に師事。東京大田区に「久が原書道教室」を開設。金澤翔子を産み育てた母であり書の師匠。出産当時ダウン症の娘が生まれたことで絶望の淵に立たされていた母泰子。見えない壁を乗り越えながら「希望」を探し続けた親子二人三脚の軌跡をはじめ、地域との関わりや、翔子の一人暮らしの様子から自立をテーマにした講演は高い定評がある。現在はテレビやラジオを中心に多数のメディアに出演する傍ら、随筆家としても活躍し執筆著書は30タイトルを超える。東京芸術大学評議員 日本福祉大学客員教授

金澤 翔子／かなざわ・しょうこ

書家。5歳のときに書家である母・泰子に師事し書を始める。世界的に活躍する日本を代表する書家の一人。ダウン症の書家としても広く知られており、伊勢神宮や東大寺など名だたる神社仏閣での奉納や美術館展覧会のほか、ニューヨークやロンドンをはじめとする世界各地で個展や公演を開催している。バチカン市国ローマ教皇に大作『祈』の寄贈、NHK大河ドラマ『平清盛』の題字、東京オリンピック公式アートポスターの制作、上皇陛下御製（天皇御在位中）の謹書を担当。2013年には紺綬褒章を受章。



人権週間(12月4日から10日) 「誰か」のことじゃない

国際連合は、世界における基本的人権を確保するための国際的な共通の基準として、世界人権宣言を採択し、その日を記念し、12月10日を「人権デー」と定めています。

日本では、法務省と全国人権擁護委員連合会が「人権デー」を最終日とする1週間を「人権週間」と定めており、全国各地では人権啓発活動が行われています。

守口市・守口市教育委員会では、毎年人権週間を記念して、守口市人権協会とともに、ヒューマンライツ・フェスティバルの開催や街頭啓発などに取り組んでいます。

人 権 特設相談

日時 12月6日(土)
午前10時～午後1時

場所 守口文化センター
3F 会議室2

※相談無料・秘密厳守